

作成日：2000年01月18日

発行日：2016年04月23日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：セメダイン EP007 硬化剤

製品番号(SDS NO)：GJ0422-10

供給者情報詳細

供給者：セメダイン株式会社

住所：東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

担当部署：環境安全衛生部

電話番号：03-6421-7413

FAX：03-6421-7416

緊急連絡先電話：03-6421-7413

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

物理化学的危険性：該当せず/分類対象外

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 2

水生環境有害性(長期間)：区分 2

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

有害性

エポキシ樹脂硬化剤による皮膚障害を起こす恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

化学的特定名：エポキシ樹脂系二液形接着剤 硬化剤

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
ポリアミドアミン	90-100	非公開/未登録	非公開/未登録
テトラエチレンペンタミン	3.7	112-57-2	(2)-162

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

化管法「指定化学物質」該当成分

テトラエチレンペンタミン

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

嘔吐物を飲み込ませてはならない。

医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

特定洗浄剤による処置が推奨される。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 適切な保護具を着用する。
- 皮膚に触れたり眼に入らないように、不浸透性手袋などの保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

- 漏出物を回収すること。
- 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 保護手袋を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
- 取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

ばく露防止

保護具

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣を着用する。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 取扱い後はよく手を洗う。
- 休憩、終業時は手を洗う。
- 休憩、終業時はうがいする。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状：液体

色：淡褐色

臭い：アミン臭

引火点：233℃

比重/密度：1.0g/cm³

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

常温、常圧で安定

危険有害反応可能性

一度に大量の主剤と混合すると、温度が急激に上昇する。

避けるべき条件

高温多湿

混触危険物質

強酸化剤、強酸、エポキシ化合物との接触は避ける。

11. 有害性情報

可能性の高いばく露経路(吸入/経口摂取、皮膚/眼接触)に関する情報

急性毒性:変成ポリアミドアミン;LD50 8000mg/kg

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(テトラエチレンペンタミン)

rat LD50=2100-3990 mg/kg (SIDS, 2008)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(テトラエチレンペンタミン)

rabbit LD50=660 mg/kg (SIDS, 2008)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(テトラエチレンペンタミン)

ラビット Draize Test: 腐食性 (SIDS, 2008)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(テトラエチレンペンタミン)

ラビット 強い刺激性 (SIDS, 2008)

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(テトラエチレンペンタミン) cat.1; guinea pig ; sensitizing, SIDS, 2008

生殖細胞変異原性データなし

催奇形性データなし

発がん性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(テトラエチレンペンタミン)

藻類(*Pseudokirchneriella subcapitata*) ErC50=0.12 mg/L/72hr (環境庁生態影響試験, 1998)

水溶解度

(テトラエチレンペンタミン)

混和する (ICSC, 2008)

残留性・分解性

(テトラエチレンペンタミン)

OECD 301Dにおける分解度:0% (SIDS, 2003)

現在のところ知見なし。

生体蓄積性

(テトラエチレンペンタミン)

log Pow=-3.16 (cal.) (ICSC, 2004)

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄処理を行う場合は、他の物質と混合すると化学反応や発熱する恐れがあるので事前に安全性を十分に確認する。

14. 輸送上の注意

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 3082

品名(国連輸送名) :

環境有害物質、液体、N.O.S.

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 9

容器等級 : III

指針番号 : 171

特別規定番号 : 274; 331; 335; 375; A97; A158; A197

環境有害性

海洋汚染物質_長期間有害性

テトラエチレンペンタミン

特別の安全対策

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

テトラエチレンペンタミン

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

テトラエチレンペンタミン

消防法

第4類 引火性液体第4石油類 危険等級 III

高圧ガス保安法に該当しない。

化審法に該当しない。

船舶安全法

腐食性物質 分類8

航空法

腐食性物質 分類8

適用法規情報

労働基準法

労働省労働基準局長通達 改正基発第339号

(エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害防止について)

硬化剤主成分表示:

ポリアミドアミン

16. その他の情報

4VOC基準:(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のためのVOC(揮発性物質)自主管理規定

4VOC基準適合 JAIA 402444

問合せ先 (<http://www.jaia.gr.jp>)

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2014 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

TEPAは劇物対象物質です。ただし、不純物であればTEPAを含む製剤であっても劇物には該当しないため、本製品は、劇物には該当いたしません。

十分な情報が得られなかった成分については、全ての項目を分類できないとしております。

2016年6月1日改正の労働安全衛生法に則して作成されたものです。ただし、有害性情報につきましては、現時点における弊社の最善の知識をもって、通常可能な範囲で調査した結果に基づくものです。

2016年6月1日以降、変更の可能性がある場合には、最新の情報に基づき作成する予定にしております。